

# 5 かわってきた人々の暮らし

## (1) 学校のうつりかわり

### 金山小学校のうつりかわり

明治5年の<sup>がくせい</sup>学制で、明治6年に小栗山の山の<sup>じんじやでん</sup>神社殿に小栗山小学校、<sup>こうげんじ</sup>本名の高現寺に本名小学校、<sup>きゆうなぬしたく</sup>旧名主宅に大栗山小学校が<sup>たんじょう</sup>誕生しました。しかし、それらの学校までは遠くて、<sup>とお</sup>通学がたいへんでした。

明治7年から水沼小、沼沢小、中川小、川口小、<sup>たまなし</sup>玉梨小がそれぞれの地区内のお寺などに<sup>うつ</sup>移され、明治9年に金山の小学校が<sup>かんせい</sup>完成し、それから100年以上の年月に多くの人が<sup>まな</sup>学びました。



<sup>じどうすう</sup>児童数がへってきたために、昭和52年から平成6年までに6つの小学校は<sup>どうごう</sup>統合がすすめられて、金山町立金山小学校となりました。

